

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：医学部

学年：3 年

留学先大学：State University of New York, Stony Brook

現在の学期：秋学期

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	09:30-10:50 The Search for Life in the Universe 13:00-16:00 Internship (Japanese TA)
火	14:00-15:20 Introduction to the Solar System 17:00-18:20 Rethinking America
水	09:30-10:50 The Search for Life in the Universe 13:00-16:00 Internship (Japanese TA)
木	14:00-15:20 Introduction to the Solar System 17:00-18:20 Rethinking America
金	
土・日	

履修科目や近況について

履修科目

千葉大学で学べない宇宙科学を学びにきましたが、2 学期間留学する学生は前期 GPA2.0 以上がビザ維持のために必要と知り、完全に専門外の分野で 12 単位を埋めるのはリスクだったため、半分の 6 単位を宇宙関係のものにしました。

後期は GPA のことを考えなくていいようなので、もっと自由に選択したいです。

The Search for Life in the Universe

地球外生命体を探す、というコンセプトの講義です。ドレイクの方程式(地球と通信が可能な地球外生命の数を推測する式)の各要素についてそれぞれの授業で掘り下げます。ユニークで興味深く、大講義室がほぼ満員になるぐらい人気です。

Introduction to the Solar System

太陽系の基礎知識を学ぶ講義です。英語どころか日本語ですら知らない知識が多いですが、スライドがわかりやすいのでなんとか追いつけています。授業のはじめに、今ホットな宇宙関係のトピックの紹介があり、モチベーションになります。

Rethinking America

アメリカ文化の様々なトピックを学ぶ授業です。交換留学生向けの授業で、生徒数も少

ないのでクラスメイトと仲良くなれます。事前課題で出された資料に関してのディスカッションがメインですが、他にも映画やドラマを見たり、ディベート対決をしたりもします。文理問わずおすすめの授業です。

Internship (Japanese TA)

日本語の授業を受けている生徒の会話の練習相手をします。事前にオフィスアワーを決めて待機し、学生(1~3人)が来たらセッションをします。私の場合、先述の通り GPA が不安だったので週 6 時間・3 単位分登録していますが、1 単位から登録が可能です。

日本文化に興味がある学生が多いので打ち解けやすく、楽しめると思います。

近況

アメリカに来てから約 1 ヶ月が経ちました。夏の NY の気候は本当に過ごしやすく、気温は 15~25°C で晴れる日がほとんどです。朝日も夕日も星も本当に綺麗です。

キャンパスはマンハッタンから Long Island Rail Road を使って約 2 時間ほどで、西千葉キャンパスの約 15 倍の大きさ(!)です。自然が素敵な場所で、リス・シカ・ウサギがキャンパス内にいます。シティと違って空気もおいしいので、朝のランニングが気持ちいいです。ジムは学期初めは混んでいましたが、流石に 1 ヶ月も経つと朝はかなり空いてきます。AM6 時から空いていて、設備も整っています。寮から走って 5 分です。

寮は 7 人 1 ユニットで暮らしていて(1 人部屋×2/2 人部屋×1/3 人部屋×1)、私は 2 人部屋です。家賃が安い分、完全にプライベートな時間はほぼないので、1 人部屋にした方がいいかもしれません。自分の場合、今のところは大きなストレスはなく使えています。自炊する人が多いので、みんなでお金を出し合ってコーヒーマーカーや炊飯器・その他調理器具全般を買いました。週末に 1 週間分のご飯を用意して冷凍しています。今週は親子丼とサーモンパスタを作りました。学食は高いので 1 回も使ったことがないです。コストコが近くにあって土日は無料のバスが出ているので、通い詰めています。また、バスタブがあってお湯を貯められるので、癒しです。

クラブ活動は、私は Japanese Student Organization に入ることになりました。スポーツ系のクラブは登録なしで好きな時に参加できるので、テニスやバレーなど、友達を誘って色々試しています。文化系のクラブは面接があるところも多く、ハードル高めかもしれません。

また、医学部生でない Undergraduate の生徒がキャンパス内で 24 時間 365 日ボランティアで救急車を運営しているボランティアサークルの見学は、本当に感銘を受けまし

た。救急車の運転や傷病者のファーストエイドなど、救急救命士のする仕事を全て学部生がすごくいい設備で行います。アメリカのメディカルスクールは非常に難関であるため、医学部進学を目指す学生は皆このようなボランティア活動をしているようです。アメリカならではの学生活動だと思うので、同じ大学に行く人はぜひ見学してほしいです。

今月末は、医学部生が地域の生活困窮者へのシェルターを運営するボランティアサークルの見学に行きます。

マンハッタン周辺は何度か観光しました。同じ高校出身の友人が何人かニューヨークシティの大学に留学しているので、色々な場所を案内してもらっています。一昨日は、メトロポリタンクラブという有名なパーティーホールでアメリカ日本人医師会の Annual Dinner に参加する機会があり、現地の医学部生や医師の方々と話せました。貴重な経験でした。来週は大学の格安ツアーで、メジャーリーグの試合を観に行きます。



朝日・夕日



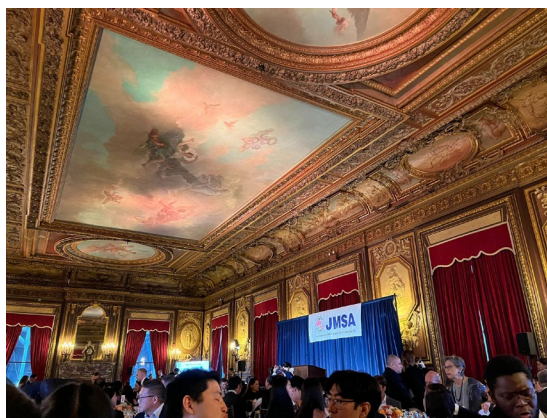
自然溢れるキャンパスです。



ボランティアの救急車が4台



マンハッタンの夜景



メトロポリタンクラブのディナー